

事故対応について ～情報漏洩発生に備えた準備～

Part3: 組織としての対策 — No. 24

導入



情報漏洩(ろうえい)事故は、ちょっとした不注意がきっかけで起こることも少なくなく、その意味では、どの企業でも起こる可能性があるのですが、問題はその影響の大きさです。

導入



近年、日本では毎年、千数百件の情報漏洩(ろうえい)事故が発生していて、それによる損害賠償額の合計は1000億円から3000億円、多い時には1兆円を超える事もありました。(被害者全員が訴訟を起こしたと仮定した時の合計推定値)仮に損害賠償を求められなかったとしても、社会的な信用の失墜や、それによる売上の悪化など、会社の被害は甚大なものになってしまいます。

2016年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書(2017年5月17日第1.0版)／日本ネットワークセキュリティ協会調べ

導入



会社に情報漏洩(ろうえい)事故が起きたら、どう行動すれば良いのか？あなたは、その問いに的確に答えることができますか？

事例

あれー？何だろ、これ。

事例

またー？ 斉藤さんの
『あれー？』には、
もう驚かないよ。

事例

それが、今回は、
ちょっと違うのよ。

担当する施主さんから、
お得意先におかしなDMが届いているけど、
心当たりないかっていうメールが来てるの。

事例

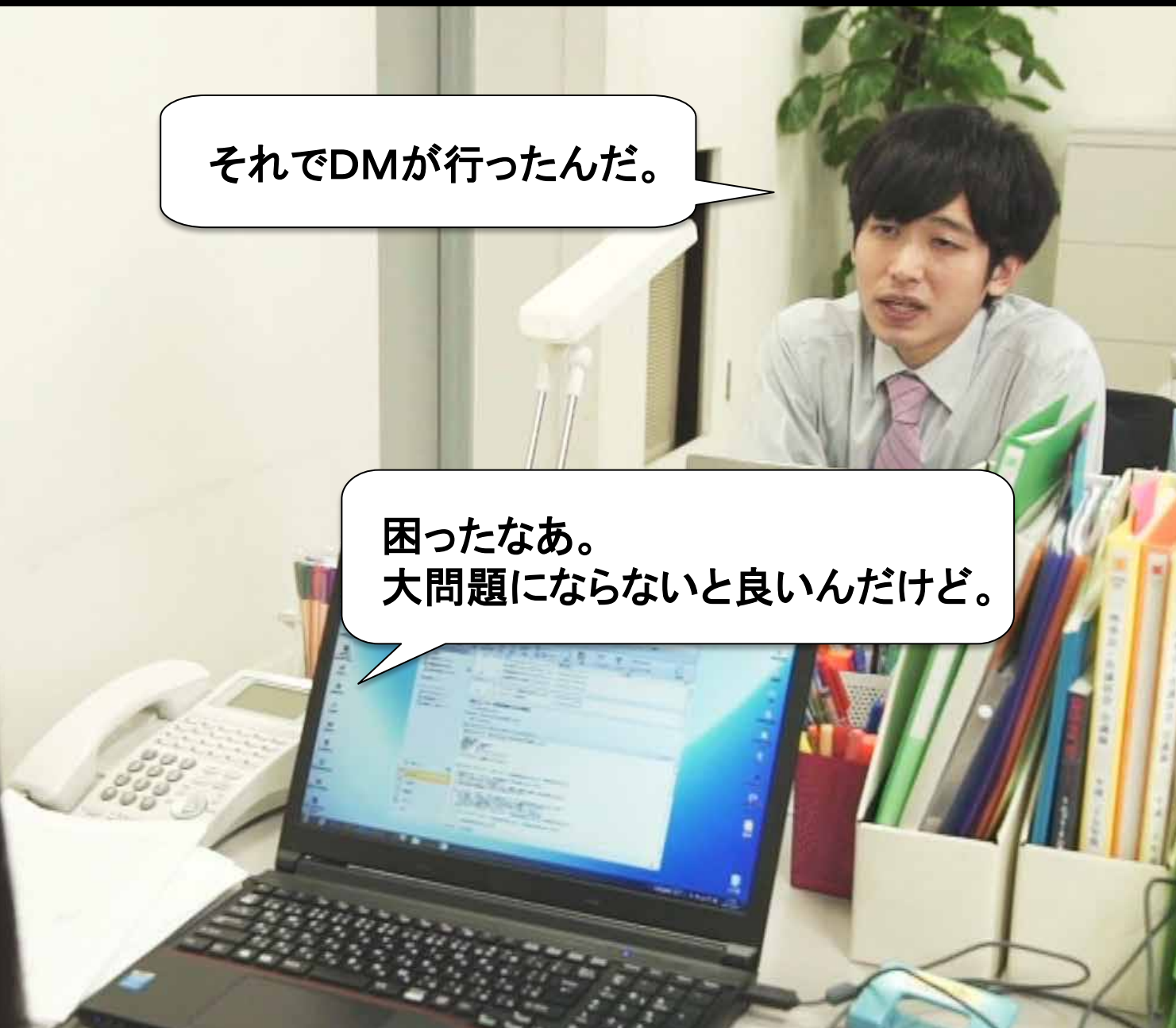
あー！！

メール、違うところ、送っちゃってる。
アドレス、1箇所、打ち間違えてた。

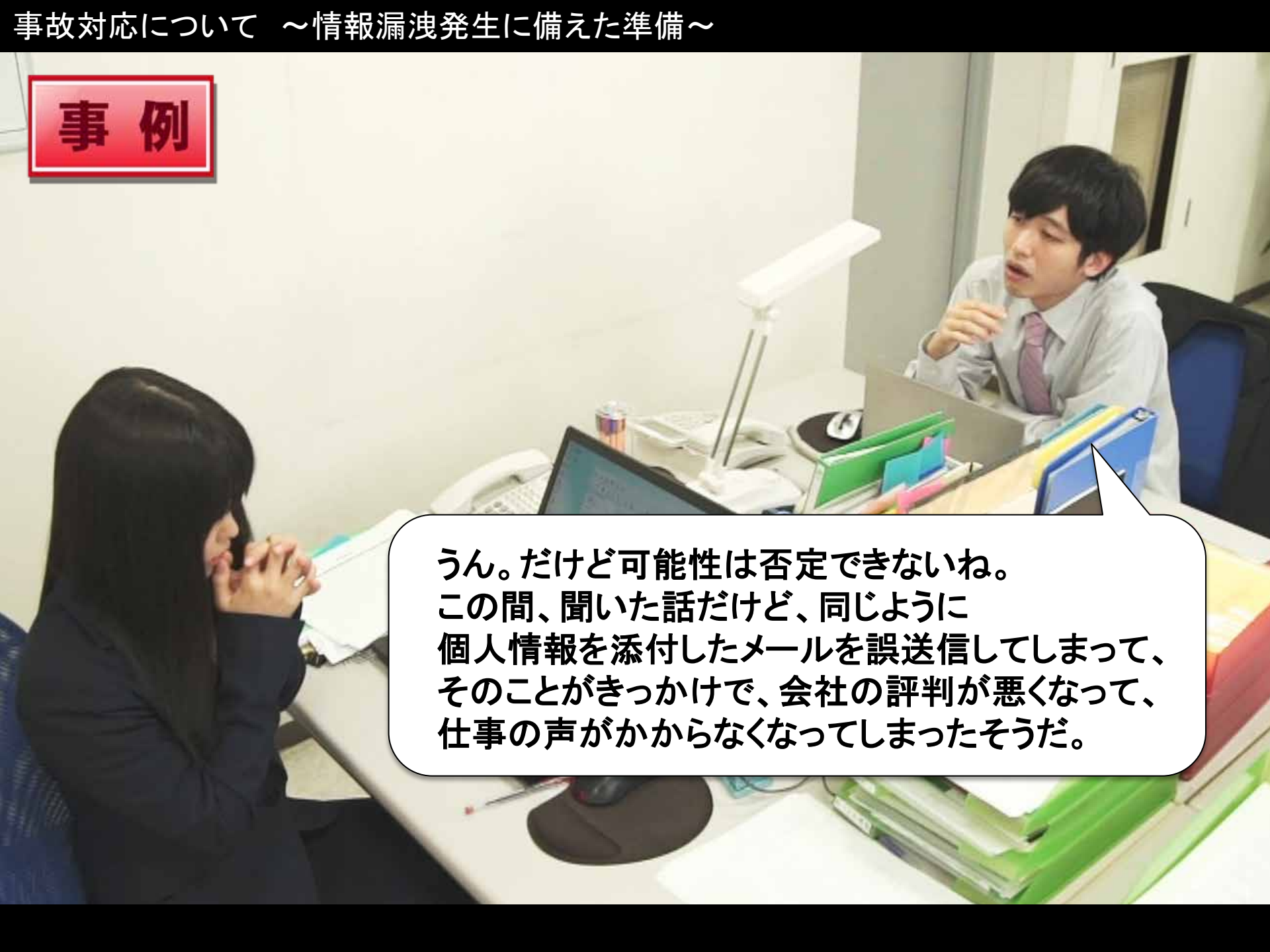
事例

それでDMが行ったんだ。

困ったなあ。
大問題にならないと良いんだけど。



事例



うん。だけど可能性は否定できないね。
この間、聞いた話だけど、同じように
個人情報を添付したメールを誤送信してしまって、
そのことがきっかけで、会社の評判が悪くなって、
仕事の声がかからなくなってしまったそうだ。

事例

どうしよう。このことから、
そんなことになったら。

やっちゃったことは、もう後に戻らないから、
あとは、大事にならないように、
できるだけのこととおかないと。

まず何をしたらいいかしら？

事例

とりあえず社長や名取さんには、
すぐに報告した方が良い。

そうね。そうする。

事例

あー、こういう時どうしたら良いかっていう
マニュアルがあると良いんだけどな。

ホントだね。

学習の意図



情報漏洩(ろうえい)事故は、内部の人間の不正や不注意、外部からの不正侵入、ネットワークの不備とさまざまな要因によって発生しますし、情報セキュリティのシステムだって、どんなにしっかりしていても100%安全ということはありません。

学習の意図



したがって、どんな会社でも万一のことを考え、漏洩(ろうえい)事故のための対策を、事前にきちんと整えておく必要がありますが、まだまだ、そうした体制ができていない会社も多く見られます。

学習の意図



漏洩(ろうえい)事故が発生した場合、社員がすべきことはたくさんあります。しかも、迅速に判断し、行動しなければならないのです。

学習の意図



秘密情報を日常的に取り扱う今日のビジネス環境では、誰もが情報漏洩(ろうえい)事故への対応策を身につけ、それによる被害を、最小限に抑えることが求められるのです。

用語解説

●秘密情報

企業が有する情報資産（顧客情報、発明情報、ビジネスモデル、取引情報、人事・財務情報など）の中で、他者に対して秘密とすることでその価値を発揮する情報のこと。

【参考】

経済産業省 秘密情報の保護ハンドブック ～企業価値向上に向けて～
(平成28年2月)

学習の意図

「事故対応」について、以下を学習しましょう。

1. 情報漏洩(ろうえい)時の対応手順を理解
2. マニュアルに基づいた的確な対応

正しい対処法



情報漏洩(ろうえい)が発生した時に、何よりも先にすべきことは、上司に報告すること。そして、情報漏洩があったかどうか確認し、それから会社のルールにのっとって行動すること。情報漏洩の事故対応はここからスタートします。

正しい対処法



そしてその後、それぞれの事故の内容に合わせて、被害の拡大や二次被害の発生を防ぐための処置を取ることになります。

正しい対処法



この事故対応では、正確な情報の収集や、透明性のある情報公開、チームでの対応などを基本に、迅速で的確な対応が求められますが、そのためには基本行動を定めたマニュアルが必要です。

正しい対処法



事故が発生した時を想定し、事前に緊急時の体制や連絡要領などを記したマニュアルを準備しておき、それを基に日頃から訓練しておくことで、被害を最小限に抑えることができます。そして、二度とそうした事故が発生しないように、原因をきちんと調査すること、事故が起きてしまった時は、その再発防止についても考える必要があります。

正しい対処法



また、情報漏洩(ろうえい)を発生させてしまっても、隠さずに報告をしてもらえるよう、社内の環境作りも大切です。例えば、漏洩(ろうえい)を隠した場合には重い処罰とする、隠さず報告を行なった場合には、処罰をしない、または軽微な処罰に留める、などを就業規則に記載して、社内に周知して行くことも必要です。

確認テスト 問題

No.24 事故対応について ～情報漏洩発生に備えた準備～

Q1

情報漏洩(ろうえい)事故対策について、不適切なのはどれでしょう。

選択肢

- | | |
|--|----------------------------------|
| | 1. 事故が起きた場合、緊急時対応用のルールに従い行動する。 |
| | 2. 事故が起きた場合、当事者が自分の独断でトラブルを処理する。 |
| | 3. あわてず冷静に行動することを心がける。 |
| | 4. 日ごろから、緊急時に備えた訓練を行なう。 |

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q1

情報漏洩(ろうえい)事故対策について、不適切なのはどれでしょう。

正解	選択肢
	1. 事故が起きた場合、緊急時対応用のルールに従い行動する。
●	2. 事故が起きた場合、当事者が自分の独断でトラブルを処理する。
	3. あわてず冷静に行動することを心がける。
	4. 日ごろから、緊急時に備えた訓練を行なう。

【解説】

漏洩(ろうえい)事故が発生したときは、独断で動かず、緊急時の体制や連絡要領などを記した社内マニュアルに従い、冷静に行動することが必要です。

確認テスト 問題

No.24 事故対応について ～情報漏洩発生に備えた準備～

Q2

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『Aさんは情報漏洩(ろうえい)の事故が起きたことに気づいたが、事態が大きくなるとより混乱すると思い、数日間上司に報告しなかった。』

選択肢	
	1. 正しい
	2. 誤り

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q2

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『Aさんは情報漏洩(ろうえい)の事故が起きたことに気づいたが、事態が大きくなるとより混乱すると思い、数日間上司に報告しなかった。』

正解	選択肢
	1. 正しい
●	2. 誤り

【解説】

事態が発生した時に、何よりも先にすべきことは、会社に報告すること、そして情報漏洩(ろうえい)があったかどうかを確認。情報漏洩の事故対応は、ここからスタートします。